

JSAC NEWS



埋められた小型武器約2,500丁の発見

2006年3月末、バタンバン州サムロット郡において大量の小型武器が発見されました。JSACがこの地域で実施している意識向上ワークショップの参加者の一人が、以前より不審に思っていた同現場を警察に連絡し、地元警察や地雷除去機関らと共に協力して調査・発掘に当たった結果、計2,482丁の武器が発掘されました。これらの武器は住民の協力のもと、安全な場所に輸送・保管され、後に破壊処分されます。

バタンバン州は内戦中、激しい戦闘地域であっただけでなく、各勢力の基地・物資供給ルートとして利用され、未だに多くの武器が残されている可能性の高い地域です。ワークショップを外から傍聴している子供たちにとっても、小型武器は身近な存在です。



発掘された大量の武器

ワークショップの様子。
コンポントム州。



JSACはこのバタンバン州・コンポントム州において、2005年10月から各種ワークショップを実施しています。地元マスコミや地方政府・警察・軍関係者を対象とした州レベルのものから、一般住民対象の草の根レベルまで、広範囲に意識向上活動を実施しています。小型武器の危険性・不要性に加え、2005年に制定された小型武器法について説明し、小型武器の所有は違法であり警察に引き渡す必要があることや、内戦時代に隠された武器などについて情報がある場合は、当局に通報すること、などを呼びかけています。各ワークショップには警察関係者を招き、話し合いの場を提供し、住民と警察との間の信頼醸成も促進しています。



小型武器破壊式典の開催

2006年3月4日、バタンバン州バタンバン郡にて、JSAC第2フェーズ開始以来初となる小型武器破壊式典「平和の炎」が開催され、1,853丁の小型武器が破壊されました。JSACの活動を通じて回収された違法武器や、警察の余剰武器が処分されました。

式典には、カンボジア王国ソーケーン副首相、高橋文明在カンボジア日本国大使をはじめとし、同国内務省、州政府、警察、軍関係者、NGO代表、地元メディアの他、多くの住民が参加し、目の前で焼却破壊される小型武器を見守りました。



日本小型武器対策支援チーム（JSAC）概要

日本政府からカンボジア政府に対し供与された紛争予防・平和構築無償支援「カンボジアにおける平和構築と包括的小型武器対策プログラム」の実施のために、2003年4月日本国際協力システム（JICS）によって設立。5つのプロジェクト（1. 平和のための小型武器削減と開発プロジェクト、2. 小型武器管理・登録支援プロジェクト、3. 小型武器破壊プロジェクト、4. 意識向上プロジェクト、5. 国家委員会支援プロジェクト）の実施を通じて、カンボジアの小型武器削減と平和構築を包括的に支援しています。

詳細については、ウェブサイトをご覧ください。URL: <http://www.online.com.kh/users/adm.jsac/>

Address:

Room No. 535, Phnom Penh Center,
Corner Sihanouk Blvd. No. 274 &
Sotheas St. No. 3,
Sangkat Tonle Bassac,
Khan Chamkarmon, Phnom Penh Cambodia
PHONE: +855-[0]23-224-001
FAX: +855-[0]23-220-330
E-MAIL: adm.jsac@online.com.kh
URL: [http://www.online.com.kh/](http://www.online.com.kh/users/adm.jsac/)
users/adm.jsac/

Volume 4, Issue 1

2006年5月10日